1. **前田 健一 :** 自動健診システムの開発とICカードの利用, *CAMPUS HEALTH,* **42,** *2,* 21-25, 2005年.
2. **武久 美奈子, 友竹 正人, 石川 静江, 早渕 純子, 佐藤 八重子, 石元 康仁, 前田 健一, 湊 義博, 大森 哲郎 :** 女子大学生の月経前緊張症, --- アンケート調査より ---, *CAMPUS HEALTH,* **42,** *2,* 99-104, 2005年.
3. **井﨑 ゆみ子, 友竹 正人, 大森 哲郎 :** 小中学校時に不登校経験があり青年期以降に大うつ病エピソードをきたした3例, *第48回日本児童青年精神医学会,* 2007年10月.
4. **井﨑 ゆみ子, 亀岡 尚美, 友竹 正人, 他 :** 徳島大学病院における児童思春期患者の外来新患調査, *第27回日本精神科診断学会,* 2007年10月.
5. **上岡 義典, 椎野 広久, 井﨑 ゆみ子, 上岡 千世, 友竹 正人, 大森 哲郎 :** K-ABCからみたアスペルガー障害幼児の認知特性, *第27回日本精神科診断学会,* 2007年10月.
6. **的場 みぎわ, 多田 敏子, 岡田 愛, 北村 清一郎, 小山 晋之 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(1報)-ソーシャルサポートより, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** 39-40, 2008年2月.
7. **岡田 愛, 的場 みぎわ, 多田 敏子, 北村 清一郎, 小山 晋之 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(2報) 心理的反応の実態より, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** *1,* 41-42, 2008年2月.
8. **的場 みぎわ, 多田 敏子, 岡田 愛 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(1報) ソーシャルサポートより, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** *1,* 39-40, 2008年2月.
9. **Ken Yamauchi, Hirofumi Aki, Masahito Tomotake, Junichi Iga, Shusuke Numata, Ikuyo Motoki, Yumiko Izaki, Shinya Tayoshi, Sawako Kinouchi, Satsuki Sumitani, Sumiko Tayoshi, Yumiko Takikawa, Yasuhiro Kaneda, Takahide Taniguchi, Yasuhito Ishimoto, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Predictors of subjective and objective quality of life in outpatients with schizophrenia., *Psychiatry and Clinical Neurosciences,* **62,** *4,* 404-411, 2008.
10. **Yoshinori Ueoka, Masahito Tomotake, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Yumiko Takikawa, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Predictors of objective quality of life in people with schizophrenia, *XIV World Congress of Psychiatry,* Sep. 2008.
11. **Masahito Tomotake, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Yumiko Takikawa, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Subjective quality of life and cognitive function in people with schizophrenia, *XIV World Congress of Psychiatry,* Sep. 2008.
12. **Yoshinori Ueoka, Masahito Tomotake, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Relationship between cognitive function and clinical factors in people with schizophrenia, *第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会,* Oct. 2008.
13. **Masahito Tomotake, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Takikawa Yumiko, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Quality of life and cognitive function in outpatients with schizophrenia, *第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会,* Oct. 2008.
14. **井﨑 ゆみ子 :** GHQを用いたスクリーニングと面接による大学保健管理センターにおける新入生のメンタルヘルス対策, *日本児童青年精神医学会総会抄録集,* 224, 2009年.
15. **大西 徳生, 魚崎 泰弘, 前田 健一, 獅々堀 正幹, 中野 晋, 多田 吉宏, 玉谷 純二, 下村 直行, 三神 厚, 倉科 昌, 中村 真紀, 杉山 茂, 小澤 将人, 山本 裕紹, 黒田 トクエ, 田端 厚之, 佐々木 由香, 島木 美香 :** 安全マニュアル, 工学部, 徳島, 2010年2月.
16. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *2,* 79-84, 2010年.
17. **岡久 玲子, 早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導を受けた医療系職員における生活習慣の変化, *第53回中国四国合同産業衛生学会抄録集,* 22, 2009年11月.
18. **小原 繁, 高橋 将記, 佐竹 昌之, 前田 健一, 的場 秀樹 :** 中高年男女の10kmジョギングでの疲労感と酸化ストレス, *ランニング学研究,* 2010年3月.
19. **井﨑 ゆみ子, 西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 佐藤 八重子, 武久 美奈子, 前田 健一 :** 新入生のメンタルヘルス健診におけるGHQ高得点者の傾向について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 343-344, 2010年2月.
20. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 139, 2010年2月.
21. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 139, 2010年2月.
22. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **46,** *3,* 55, 2010年3月.
23. **井﨑 ゆみ子 :** よくわかる精神科治療薬の考え方，使い方 (改訂2版), 株式会社 中外医学社, 2011年3月.
24. **二宮 恒夫, 井﨑 ゆみ子, 中津 忠則 :** 大学生のうつ病認知スケール結果を学校精神保健にどう活かすか, *平成22年度第41回全国学校保健・学校医大会大会誌,* 200-202, 2010年.
25. **Momoyo Azuma, Takada Shinsuke, Sato Seidai, Hisatsugu Goto, Hiroaki Yanagawa, Yasuhiko Nishioka, Kenichi Maeda, Shin-ichi Akiyama *and* Saburo Sone :** Investigation of complementary and alternative medicine in lung cancer patients in Tokushima Univerity Hospital., *第9回アジア臨床腫瘍学会学術集会,* Gifu, Aug. 2010.
26. **赤坂 和哉 :** 精神分析的な「子ども」におけるいじめの幻想的側面:隠蔽記憶としてのいじめ, *日本心理臨床学会(第29回秋季大会),* 2010年9月.
27. **二宮 恒夫, 井﨑 ゆみ子, 中津 忠則 :** 大学生のうつ病認知スケール結果を学校精神保健にどう活かすか, *第41回全国学校保健・学校医大会,* 2010年11月.
28. **前田 健一, 井﨑 ゆみ子 :** 徳島大学における新型インフルエンザの流行状況について, *第40回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 110-112, 2010年12月.
29. **赤坂 和哉 :** 内容解釈で反応した女性患者, *精神分析臨床研究会(第18回),* 2010年12月.
30. **赤坂 和哉 :** ラカン派精神分析の治療論 理論と実践の交点, 誠信書房, 東京, 2011年6月.
31. **高橋 将記, 的場 秀樹, 佐竹 昌之, 前田 健一, 小原 繁 :** 中高年者における10㎞走での疲労感と酸化ストレス及び抗酸化能力の関係, *ランニング学研究,* **23,** *1,* 29-36, 2011年.
32. **赤坂 和哉 :** 心理臨床家にとっての解釈という行為:無意識の形成物の中で眠っているシニフィアン, *日本心理臨床学会(第30回秋季大会),* 2011年9月.
33. **井﨑 ゆみ子 :** 学校保健・福祉 大学生に見られたうつ病エピソードの検討, *日本児童青年精神医学会総会抄録集,* 344, 2011年11月.
34. **井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 保健管理センターを受診した学生の単年度統計, --- メンタル不調との関連の分析 ---, *第41回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 102-103, 岡山, 2011年11月.
35. **前田 健一, 井﨑 ゆみ子 :** ICカードを持たない職員に対して自動健診システムを導入する試み, *第41回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 44-46, 岡山, 2011年11月.
36. **前田 健一, 早渕 純子, 佐藤 八重子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 井﨑 ゆみ子 :** 職員健診の効率化のための自動健診システムとWeb入力, *CAMPUS HEALTH,* **49,** *1,* 128-129, 2012年2月.
37. **藤原 朝洋, 赤坂 和哉, 押味 京子, 他 :** 休退学の実態について:2011全国研分科会からの報告①, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
38. **押味 京子, 赤坂 和哉, 菅野 泰蔵, 他 :** 休退学に関する対策の現状:2011全国研分科会からの報告②, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
39. **富永 ちはる, 赤坂 和哉, 押味 京子, 他 :** 休退学にかんする今後の対策と相談室の役割:2011全国研分科会からの報告③, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
40. **井﨑 ゆみ子 :** 第9回日本うつ病学会総会シンポジウム2児童青年期と成人のうつ病, --- 世代による症候論の特徴 ---, *第9回日本うつ病学会プログラム抄録集,* 72, 2012年7月.
41. **赤坂 和哉 :** 沈黙が多い男子学生の一症例, *精神分析臨床研究会(第22回),* 2012年7月.
42. **西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 西田 洋子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導における集団指導の試み∼ランチョンセミナーを実施して∼, *第42回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 香川, 2012年12月.
43. **赤坂 和哉, 福田 大輔 :** アラン・ヴァニエ (著) はじめてのラカン派精神分析:初心者と臨床家のために, 誠信書房, 東京, 2013年11月.
44. **藤原 朝洋 :** 末期癌患者の「人生の質」に関する社会学的考察 : ホスピスと代替医療の比較から, *生涯学習研究センター紀要,* **19,** 61-72, 2014年.
45. **井ノ崎 敦子, 赤坂 和哉 :** 学生相談室における臨床心理実習の意義:グループ活動における実習効果の検討, *日本学生相談学会(第31回大会),* 2013年5月.
46. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 岡久 玲子, 武内 早苗, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導対象職員の食行動について, --- 3年間の食行動質問票の集計を基に ---, *第43回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* **43,** 59-63, 2013年10月.
47. **赤坂 和哉 :** 演技的な女子学生の一症例, *精神分析臨床研究会(第25回),* 2014年2月.
48. **武内 早苗, 早渕 純子, 山田 博胤, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 徳島大学職員への頸動脈エコー実施の試み, *第44回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 76-80, 島根, 2014年.
49. **河村 保彦, 高木 均, 前田 健一, 中野 晋, 多田 吉宏 :** 機械類の安全運転, 徳島大学工学部, 2015年3月.
50. **井ノ崎 敦子 :** 卒業期での性的虐待被害経験をもつ学生との面接過程‐現実適応を考慮した対人トラウマのワークスルーの意義‐, *日本学生相談学会第32回大会論文集,* 2014年5月.
51. **井ノ崎 敦子 :** DV被害女性のための心理教育グループの効果に関する研究(3)‐単発の心理教育グループの効果検討‐, *日本心理臨床学会第33回秋季大会論文集,* 2014年9月.
52. **井ノ崎 敦子 :** DV被害者対象の単発型心理教育グループの効果‐プロセス分析による検討‐, *日本心理学会第78回大会論文集,* 2014年9月.
53. **藤原 朝洋 :** 学生相談における動作法を用いた面接事例の検討 -吃音のある男子大学生の事例に基づく考察-, *2014年 日本リハビリテイション心理学会 学術大会,* 2014年12月.
54. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 岡久 玲子, 武内 早苗, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 体重減少が血液検査結果に及ぼす影響について∼5年間の特定保健指導の結果を基に∼, *第44回中国四国保健管理研究集会報告書,* 71-75, 2014年10月.
55. **住谷 さつき :** 強迫性障害, 南々社, 2015年8月.
56. **井ノ崎 敦子 :** 犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド, 東京, 2016年2月.
57. **井ノ崎 敦子 :** アクティブラーニングで学ぶジェンダー, --- 現代を生きるための12の実践 ---, 保健管理・総合相談センター, 京都, 2016年3月.
58. **武田 知也, 住谷 さつき, 濱谷 沙世, 横瀬 洋輔, 四方 めぐみ, 大森 哲郎 :** 成人高機能自閉症スペクトラム障害におけるWechsler式知能検査と自閉症スペクトラム指数との関連, *精神医学,* **57,** *11,* 919-926, 2015年.
59. **Naomi Kameoka, Junichi Iga, Mai Tamaru, Takeo Tominaga, Hiroko Kubo, Shinya Watanabe, Satsuki Sumitani, Masahito Tomotake *and* Tetsuro Ohmori :** Risk factors for refeeding hypophosphatemia in Japanese inpatients with anorexia nervosa., *The International Journal of Eating Disorders,* **49,** *4,* 402-406, 2016.
60. **Hidehiro Umehara, Shusuke Numata, Makoto Kinoshita, Shinya Watanabe, S Nakaaki, Satsuki Sumitani *and* Tetsuro Ohmori :** No association between BDNF Val66Met polymorphism and treatment response in obsessive-compulsive disorder in the Japanese population., *Neuropsychiatric Disease and Treatment,* **12,** 611-615, 2016.
61. **藤原 朝洋, 山本 真由美 :** 徳島大学大学開放実践センターにおけるグループ回想法の実践, *徳島大学大学開放実践センター紀要,* **25,** 65-71, 2016年.
62. **Hidehiro Umehara, Shusuke Numata, Atsushi Tajima, A NISHI, Issei Imoto, Satsuki Sumitani *and* Tetsuro Ohmori :** A genome-wide association study of the long-term clinical response to SSRI or SSRI with antipsychotics in obsessive-compulsive disorder in the Japanese population, *Neuroscience,* Chicago, Oct. 2015.
63. **赤坂 和哉 :** 大学のハラスメント相談における対応の転換点:主人のディスクールからヒステリー者のディスクールへ, *日本学生相談学会第33回大会,* 2015年5月.
64. **住谷 さつき, 武田 知也, 濱谷 沙世, 横瀬 洋輔, 四方 めぐみ, 大森 哲郎 :** 成人高機能自閉スペクトラム症におけるWechsler式知能検査と自閉症スペクトラム指数との乖離, *第35回日本精神科診断学会,* 2015年8月.
65. **久 桃子, 古賀 聡, 藤原 朝洋, 針塚 進 :** 臨床心理学的視点に基づく地域在住高齢者の健康支援活動の展開, *日本心理臨床学会 第34回大会,* 2015年9月.
66. **井ノ崎 敦子 :** デートDVの被害・加害・ダメージ(4), *日本心理学会第79回大会論文集,* 2015年9月.
67. **井ノ崎 敦子 :** アクティブに学ぶジェンダー, *日本心理学会第79回大会,* 2015年9月.
68. **梅原 英裕, 沼田 周助, 住谷 さつき, 大森 哲郎 :** 強迫性障害の治療反応性とセロトニントランスポータ遺伝子多型との関連, *第37回日本生物学的精神医学会,* 2015年9月.
69. **武田 知也, 住谷 さつき, 濱谷 沙世, 横瀬 洋輔, 四方 めぐみ, 大森 哲郎 :** Stroopおよび言語流暢性検査を用いた強迫性障害患者の脳血流変化の検討, *第37回日本生物学的精神医学会,* 2015年9月.
70. **江戸 宏彰, 渡部 真也, 住谷 さつき, 大森 哲郎 :** 一過性に精神病症状が出現した強迫性障害の一例, *第56回中国・四国精神神経学会,* 2015年11月.
71. **井ノ崎 敦子, 井﨑 ゆみ子, 西田 洋子, 西尾 よしみ, 武内 早苗, 早渕 純子, 横山 小百合, 赤坂 和哉, 藤原 朝洋, 井上 陽子, 前田 健一, 山本 真由美, 大森 哲郎 :** 一般教員による障害学生支援の実態に関する調査研究, *CAMPUS HEALTH,* **53,** *1,* 414-416, 2016年3月.
72. **武田 知也, 住谷 さつき, 濱谷 沙世, 横瀬 洋輔, 四方 めぐみ, 大森 哲郎 :** 成人高機能自閉症スペクトラム障害におけるWechsler式知能検査と自閉症スペクトラム指数との関連, *第15回精神疾患と認知機能研究会,* 2015年11月.
73. **赤坂 和哉 :** ラカンと対象関係論の対話, *対象関係論勉強会(日本精神分析協会認定基礎セミナー),* 2015年12月.
74. **武内 早苗, 早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 随時尿でのNa, Cl測定による食塩摂取量と高血圧, --- 推定食塩摂取量を生活・食事指導に生かすために ---, *第45回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 58-60, 2015年11月.
75. **井﨑 ゆみ子, 武久 美奈子, 大森 哲郎 :** 大学におけるメンタルヘルス対策の検討 入学時のメンタルヘルス健診と在学中の精神科受療行動との関連から, *精神科治療学,* **32,** *5,* 697-704, 2017年.
76. **井ノ崎 敦子 :** 性的被虐待経験をもつ女子学生への卒業期における学生相談の要点について, --- 共感的応答による怒りの受容と主体性の高まり ---, *学生相談研究,* **38,** *2,* 146-156, 2017年.
77. **亀岡 智美, 瀧野 揚三, 野坂 祐子, 岩切 昌宏, 中村 有吾, 加藤 寛 :** トラウマインフォームドケア : その歴史的展望, *精神神經學雜誌,* **120,** *3,* 173-185, 2018年.
78. **松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 青野 篤子 :** 成人におけるデートDVの実態とダメージの認知・依存的恋愛観と暴力容認傾向との関連, *神戸女学院大学論集,* **64,** *2,* 31-46, 2017年.
79. **中村 有吾 :** 教育領域における発達障害のトラウマケアについての一考察, *大阪商業大学教職課程研究紀要 = Journal of the Teacher-Training Course at Osaka University of Commerce,* **1,** *1,* 37-47, 2018年.
80. **住谷 さつき :** 強迫症/強迫性障害に対する抗精神病薬による増強療法, *精神科治療学,* **32,** *4,* 449-454, 2017年4月.
81. **住谷 さつき :** 小児・児童の強迫症/強迫性障害の臨床, *Depression Strategy,* **7,** *2,* 12-14, 2017年6月.
82. **井ノ崎 敦子 :** 恋愛問題を抱える女子大学院生への面接過程, --- 学生相談における大学院学生期支援のあり方についての検討 ---, *日本学生相談学会第35回大会論文集,* 67, 2017年5月.
83. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(4), --- デートDV加害及び被害経験と親密性との関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
84. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(1), --- 共感性・怒りの制御・葛藤解決方略とデートDV加害との関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
85. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(2), --- 恋人による被支配感を考慮したデートDV被害に葛藤解決方略が与える影響 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
86. **松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(3), --- 依存的恋愛観と暴力の関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
87. **Hidehiro Umehara, Shusuke Numata, Shinya Watanabe, Satsuki Sumitani *and* Tetsuro Ohmori :** Altered Serotonin transporter mRNA expression in the peripheral leukocytes of obsessive-compulsive disorder, *第47回日本神経精神薬理学会・第39回日本生物学的精神医学会 合同年会,* Sep. 2017.
88. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子 :** 高等学校の養護教諭におけるデートDVに関する意識, --- 高等学校での取り組みと相談経験の差異から ---, *日本心理臨床学会第36回大会,* 2017年11月.
89. **井ノ崎 敦子 :** DV被害女性のための心理教育グループの効果に関する研究(3), --- 2セッション・バージョンにおける効果検討 ---, *日本心理臨床学会第36回大会,* 2017年11月.
90. **中村 有吾 :** 学校での問題行動とトラウマインフォームドケア, *大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター 第5回プロジェクトフォーラム,* 2018年2月.
91. **中村 有吾 :** 教育領域でのトラウマインフォームドケア, *第7回 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム,* 2018年3月.
92. **武田 知也, 中瀧 理仁, 大田 将史, 濱谷 沙世, 松浦 可苗, 吉田 玲於奈, 亀岡 尚美, 富永 武男, 坂本 新介, 梅原 英裕, 木下 誠, 久保 弘子, 渡部 真也, 沼田 周助, 住谷 さつき, 大森 哲郎 :** 統合失調症患者の否定的・肯定的自動思考と臨床要因との関連, *第13回統合失調症学会,* 2018年3月.
93. **大田 将史, 中瀧 理仁, 住谷 さつき, 沼田 周助, 伊賀 淳一, 久保 弘子, 田丸 麻衣, 中山 千明, 船越 康宏, 上里 彰仁, 原田 雅史, 西川 徹, 大森 哲郎 :** D-サイクロセリンにより治療された統合失調症患者における脳構造的および機能的結合性変化 VBMと安静時fMRIによるコンビネーション研究., *第13回日本統合失調症学会,* 2018年3月.
94. **Administration Abuse and Mental Health Services Substance, (訳)亀岡 智美, 瀧野 揚三, 中村 有吾, 岩切 昌宏, 他 :** SAMHSA のトラウマ概念とトラウマインフォームドアプローチのための手引き, *大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター,* 2018年3月.
95. **武田 知也, 中瀧 理仁, 大田 将史, 濱谷 沙世, 松浦 可苗, 吉田 玲於奈, 亀岡 尚美, 富永 武男, 坂本 新介, 梅原 英裕, 木下 誠, 久保 弘子, 渡部 真也, 沼田 周助, 住谷 さつき, 大森 哲郎 :** 統合失調症患者における神経認知機能と否定的・肯定的認知の関連., *第4回CEPD会,* 2018年3月.
96. **Takeo Tominaga, Masahito Tomotake, Tomoya Takeda, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Shinya Watanabe, Naomi Kameoka, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Yumiko Izaki, Satsuki Sumitani, hiroko Kubo, Yasuhiro Kaneda *and* Tetsuro Ohmori :** Relationship between social and cognitive functions in people with schizophrenia, *Neuropsychiatric Disease and Treatment,* **14,** 2215-2224, 2018.
97. **Atsuko Inosaki, Makiko Kasai *and* Atsuko Aono :** Romantic Relationship and Sexuality Problems of Japanese Women Students, *Annual Review of Critical Psychology,* **15,** 181-199, 2018.
98. **Makoto Kinoshita, Masahito Nakataki, Ryoma Morigaki, Satsuki Sumitani, Satoshi Goto, Ryuji Kaji *and* Tetsuro Ohmori :** Turning on the Left Side Electrode Changed Depressive State to Manic State in a Parkinson's Disease Patient Who Received Bilateral Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation: A Case Report., *Clinical Psychopharmacology and Neuroscience,* **16,** *4,* 494-496, 2018.
99. **Tomoya Takeda, Masahito Nakataki, Masashi Ohta, S Hamatani, K Matsuura, R Yoshida, Naomi Kameoka, Takeo Tominaga, Hidehiro Umehara, Makoto Kinoshita, Shinya Watanabe, Shusuke Numata, Satsuki Sumitani *and* Tetsuro Ohmori :** Negative and positive self-thoughts predict subjective quality of life in people with schizophrenia., *Neuropsychiatric Disease and Treatment,* **15,** 293-301, 2019.
100. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 「自己のための恋愛」を繰り返す女子学生との面接過程‐自己対象欲求の成熟による凝集的自己の獲得‐, *教育実践学論集, 20,* 25-37, 2019年.
101. **井ノ崎 敦子 :** 樹木画によるDV被害者対象心理教育プログラムの効果検討, *日本描画テスト・描画療法学会第28回大会抄録集,* 51, 2018年.
102. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(1), *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
103. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(2), --- デートDV被害について ---, *日本心理学会第82回大会論文集,* **82,** 2AM-132, 2018年.
104. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 上野 淳子, 松並 知子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(3), --- 青年期の恋愛関係における親密性と本来感の関連 ---, *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
105. **下村 淳子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(4), *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
106. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 国内外における大学生の恋愛に関する心理学的研究の動向, *鳴門教育大学学校教育研究紀要,* **33,** 27-33, 2019年.
107. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 大学生の恋愛の発達と自己の発達との関連, *鳴門教育大学学校教育研究紀要,* **34,** 1-8, 2019年.
108. **上野 淳子, 松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 青野 篤子 :** 青年後期と成人前期におけるデートDV被害, --- 恋人による被支配感に与える影響 ---, *四天王寺大学紀要,* **67,** 33-43, 2019年.
109. **中村 有吾, 瀧野 揚三, 岩切 昌宏 :** 米国マサチューセッツ州におけるトラウマセンシティブスクールの実際, *学校危機とメンタルケア,* **11,** 1-14, 2019年.
110. **中村 有吾 :** 教育領域におけるトラウマインフォームドアプローチの職員研修を考える, *第17回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2018年6月.
111. **中瀧 理仁, 久保 弘子, 住谷 さつき, 沼田 周助, 亀岡 尚美, 渡部 真也, 梅原 英裕, 大田 将史, 原田 雅史, 大森 哲郎 :** 双極性障害患者におけるアミノ酸系神経伝達物質の異常, *第15回日本うつ病学会総会,* 2018年7月.
112. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 下村 淳子, 北山 裕子, 南畑 好美 :** アクティブラーニングを用いた暴力防止プログラムの効果, *日本教育心理学会総会発表論文集,* **61,** 202, 2019年.
113. **中村 有吾 :** 教育領域でのトラウマインフォームドケアーマサチューセッツ州の取り組みを参照してー, *第8回 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム,* 2019年3月.
114. **井上 麻由, 井﨑 ゆみ子, 武内 早苗, 西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 前田 健一, 大森 哲郎 :** UPIを用いた予防的介入の指標, *第56回全国大学保健管理研究集会,* 2018年10月.
115. **中村 有吾, 岩切 昌宏 :** トラウマセンシティブスクールー全児童生徒の安心感を高めるアプローチー, *精神医学,* **61,** *10,* 1135-1142, 2019年.
116. **住谷 さつき :** 長期にわたり気分の変動と摂食障害の症状が連動した双極性障害の1例 鑑別診断と病因の相互作用に関する考察, *精神神經學雜誌,* **121,** *10,* 790-798, 2019年.
117. **Naomi Kameoka, Satsuki Sumitani *and* Tetsuro Ohmori :** Behavioral and psychological symptoms of dementia (BPSD) and care burden : Examination in the facility staff for elderly residents., *The Journal of Medical Investigation : JMI,* **67,** *3.4,* 236-239, 2020.
118. **Takeo Tominaga, Masahito Tomotake, Tomoya Takeda, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Shinya Watanabe, Naomi Kameoka, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Yumiko Izaki, Satsuki Sumitani, Hiroko Kubo, Yasuhiro Kaneda *and* Tetsuro Ohmori :** Predictors of life skills in people with schizophrenia, *The Journal of Medical Investigation : JMI,* **67,** *1,2,* 75-82, 2020.
119. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 下村 淳子 :** 大学生における葛藤解決方略と恋人による被支配感の関係, *四天王寺大学紀要,* **69,** 53-62, 2020年.
120. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 大学生の恋愛の発達と自己の発達との関連‐自己心理学的観点による分析と恋愛相談との関連‐, *鳴門教育大学学校教育研究紀要, 34,* 1-8, 2020年.
121. **浅井 鈴子, 大岡 由佳, 瀧野 揚三, 中村 有吾, 毎原 敏郎 :** 学校におけるトラウマインフォームドケアの実践(第Ⅰ報)ー中学校への介入研究の結果からー, *学校危機とメンタルケア,* **12,** 25-32, 2020年.
122. **住谷 さつき :** 神経発達症と不安症および強迫症, *臨床精神医学,* **48,** *10,* 1173-1178, 2019年10月.
123. **井ノ崎 敦子 :** 恋愛問題に悩む男子学生との面接過程, *日本心理臨床学会第38回大会論文集,* 2019年6月.
124. **中村 有吾, 岩切 昌宏 :** 学校教育領域におけるトラウマインフォームドケア, *第18回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2019年6月.
125. **中村 有吾, 木村 有里 :** 学校教育領域の職員研修を考える, *第18回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2019年6月.
126. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 上野 淳子, 松並 知子, 下村 淳子 :** アクティブラーニングを用いた暴力防止プログラムの効果, *日本心理学会第83回大会論文集,* 2019年9月.
127. **齋藤 大輔, Jung Minyoung, 内海 千種, 相澤 直樹, 牧田 潔, 中村 有吾, 平石 博敏, 石橋 正浩 :** 投影法課題における図版(無色彩図版)の特性を反映した神経基盤, *日本心理学会第83回大会(於:立命館大学大阪いばらきキャンパス),* 2019年9月.
128. **井﨑 ゆみ子 :** シンポジウム1「子ども∼子どものこころを支える」, *第60回中国・四国精神神経学会抄録集,* 47, 2019年10月.
129. **池 志保, 中村 晋介, 井ノ崎 敦子, 中村 悠里恵, 三吉 紗矢, 髙坂 康雅 :** 現代青年期のパートナーシップ, *日本発達心理学会第31回大会論文集,* 2020年3月.
130. **内海 千種, 中村 有吾 :** 第2章「トラウマに配慮した学校づくり」,藤森和美 (編著)『学校トラウマの実際と対応:児童・生徒への支援と理解』, 2020年8月.
131. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 下村 淳子, 松並 知子 :** 今日からできるデートDV予防教育-青少年のための暴力防止プログラム(VPA)-, 2020年9月.
132. **井﨑 ゆみ子, 西尾 よしみ, 武田 早苗, 尾﨑 理恵, 早渕 純子, 横山 小百合, 浜田 知子 :** COVID-19対策下での新入生メンタルヘルス健診の実施方法の変更による影響の検討, (公社)全国大学保健管理協会, 2021年3月.
133. **井ノ崎 敦子 :** 四国での心理臨床-四国遍路とともに, *心理臨床の広場,* **13,** *1,* 30-31, 2020年.
134. **後藤 龍太 :** 受刑者のカウンセリング, *心理臨床の広場,* **13,** *1,* 18-19, 2020年8月.
135. **Atsuko Inosaki :** Break Out Group Leader, *International Conference Series Part 3: Conference of the Pacific Rim,* Jan. 2021.
136. **井ノ崎 敦子 :** 学生相談における恋愛相談に関する実態調査, *日本心理学会第84回大会論文集,* 2020年9月.
137. **中村 有吾 :** トラウマインフォームドアプローチの第一層目における専門家の役割を考える, *第19回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2020年9月.
138. **住谷 さつき :** ワークショップ 精神神経誌に掲載される論文の書き方 「症例報告の投稿経験」, *第116回日本精神神経学会総会,* 2020年9月.
139. **井﨑 ゆみ子, よしみ 西尾, 早苗 武田, 理恵 尾崎, 純子 早渕, 横山 小百合, 浜田 知子 :** COVID-19対策下での新入生メンタルヘルス健診の実施方法の変更による影響の検討, *全国大学保健管理研究集会プログラム・抄録集,* 87, 2020年11月.
140. **石澤 有紀, 三成 美保, 坂東 良美, 住谷 さつき, 丹黒 章, 葉久 真理 :** 研究に関する男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査 -全国の集計結果との比較から見える徳島大学の現状-, *第262回 徳島医学会学術集会(令和2年度冬期),* 2021年3月.
141. **Committee Child Traumatic Stress Network Schools National, (訳)石橋 正浩, 木村 有里, 岩切 昌宏, 瀧野 揚三, 中村 有吾 :** トラウマインフォームドな学校づくりー支援を継 続させるシステムフレームワーク, *大阪教育大学学校安全推進センター,* 2020年4月.
142. **橋爪 正樹, 右手 浩一, 井﨑 ゆみ子, 大野 将樹, 中野 晋, 溝渕 啓, 玉谷 純二, 下村 直行, 上田 隆雄, 上野 勝利, 長尾 文明, 橋本 親典, 武藤 裕則, 渡邉 健, 木戸 崇博, 片山 哲郎, 山下 陽子, 田端 厚之, 佐々木 由香, 島木 美香, 音井 威重, 金丸 芳, 服部 武文, 濵野 龍夫, 宮脇 克行, 安間 了, 西山 賢一, 青矢 睦月 :** 安全マニュアル, 2021年4月.
143. **Tetsu Tomonari, Yasushi Sato, Joji Tani, Akira Hirose, Chikara Ogawa, Akihiro Morishita, Hironori Tanaka, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Naoki Muguruma, Kazushige Uchida, Tsutomu Masaki *and* Tetsuji Takayama :** Comparison of therapeutic outcomes of Sorafenib and Lenvatinib as primary treatments for hepatocellular carcinoma with a focus on molecular-targeted agent sequential therapy: A propensity score-matched analysis., *Hepatology Research,* **51,** *4,* 472-481, 2021.
144. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Takeshi Kurihara, Miwako Kagawa, Kaizoh Kagemoto, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Tatsuya Taniguchi, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Differences in Several Factors in the Development of Erosive Esophagitis Among Patients at Various Stages of Metabolic Syndrome: A Cross-Sectional Study., *Diabetes, Metabolic Syndrome and Obesity : Targets and Therapy,* **14,** 1589-1600, 2021.
145. **井﨑 ゆみ子 :** 思春期青年期の若者の抑うつ, *四国医学雑誌,* **77,** *1-2,* 37-44, 2021年.
146. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 下村 淳子, 松並 知子 :** デートDV第1次予防プログラムの開発と効果検証ー高校生を対象としてー, *心理學研究,* **92,** *4,* 248-256, 2021年.
147. **Masanori Takehara, Hiroshi Miyamoto, Yasuteru Fujino, Tetsu Tomonari, Tatsuya Taniguchi, Shinji Kitamura, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Yasushi Sato, Naoki Muguruma, Yoshimi Bando *and* Tetsuji Takayama :** Long-Term Survival due to Chemotherapy including Paclitaxel in a Patient with Metastatic Primary Splenic Angiosarcoma., *Case Reports in Gastroenterology,* **15,** *3,* 910-918, 2021.
148. **Tetsu Tomonari, Yasushi Sato, Hironori Tanaka, Takeshi Mitsuhashi, Akihiro Hirao, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Naoki Muguruma *and* Tetsuji Takayama :** Therapeutic efficacy of lenvatinib in nonviral unresectable hepatocellular carcinoma., *JGH Open,* **5,** *11,* 1275-1283, 2021.
149. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子 :** 青年期におけるデートDV加害の規定要因の検討, *心理臨床学研究,* **39,** *6,* 505-515, 2022年.
150. **Masahiro Sogabe, Yumiko Izaki, Toshiya Okahisa *and* Tetsuji Takayama :** Improvement of acceptability in patients undergoing esophagogastroduodenoscopy using auditory and visual stimulation., *The Journal of Medical Investigation : JMI,* **69,** *1-2,* 8-18, 2022.
151. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** Building Resilience for International Students: Results of Stress Prevention Seminars, *第17回大学教育カンファレンスin徳島,* 50-51, 2022.
152. **井ノ崎 敦子 :** セクシュアル・ハラスメントに関する国内文献レビュー, *鳴門教育大学心理・教育相談室紀要,* **17,** 2022年.
153. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** Online Seminar: A Potential Mental Health Support Tool for International Students, *Proceedings of The 4th International Conference on New Approaches in Education,* 20-26, 2022.
154. **井ノ崎 敦子 :** 先人に訊ねる日本の心理臨床学史∼平木典子先生に訊く∼, *日本心理臨床学会40周年記念誌-その歴史と記録-,* 37, 2022年.
155. **井ノ崎 敦子, チャン ホアンナム, 金 成海 :** 留学生向けストレス対策セミナー:徳島大学での取り組み, *徳島大学高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班紀要年報,* 22-24, 2022年.
156. **石澤 有紀, 坂東 良美, 住谷 さつき, 丹黒 章, 葉久 真理 :** 研究に関する男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査-全国の集計結果との比較から見える徳島大学の現状-, *徳島大学人と地域共創センター紀要,* **31,** 17-32, 2022年.
157. **住谷 さつき :** 【強迫についてあらためて考える】強迫症の薬物療法, *精神医学,* **63,** *6,* 923-931, 2021年6月.
158. **住谷 さつき :** 【子どもの精神科薬物治療について考える】子どもの強迫症に対する薬物治療, *精神科治療学,* **36,** *10,* 1171-1176, 2021年10月.
159. **Oyama Eiji, Akihiro Shirai, Tadahiko Nakagawa, Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa *and* Kenji Teranishi :** Effects of Physiological Saline Solution Treated by Ar Dielectric Barrier Discharge on Proliferation of Jurkat Cell, *74th Annual Gaseous Electronics Conference,* Online, Oct. 2021.
160. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** Online Seminar: A Potential Mental Health Support Tool for International Students, *4th International Conference on New Approaches in Education,* London, Feb. 2022.
161. **井﨑 ゆみ子 :** 思春期青年期の若者に見られる抑うつ, *四国医学雑誌,* **77,** *1-2,* 104, 2021年4月.
162. **緒方 良輔, 小松 祟俊, 小林 誠司, 大西 芳明, 田中 克哉, 福原 正史, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** CART時の濃縮器の目詰まりと新しい胸腹水濾過濃縮装置(M-CART)の濃縮倍率自動調節機能, *第47回日本急性血液浄化学会学術大会,* 2021年4月.
163. **佐藤翔平 (名), 緒方良輔 (名), 坂東直紀 (名), 小松崇俊 (名), 大西 芳明, 田中 克哉, 友成 哲, 高山 哲治, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** CART用装置(M-CART)によるワンパス濃縮の有効性., *第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会, 広島.,* 2021年4月.
164. **友成 哲, 谷 丈二, 田中 宏典, 谷口 達哉, 森下 朝洋, 曽我部 正弘, 宮本 弘志, 六車 直樹, 正木 勉, 高山 哲治 :** 進行肝癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の薬物療法既治療例に対する安全性の検討．, *<合同シンポジウム>第115回日本消化器病学会四国支部例会. 高知.,* 2021年6月.
165. **福家 慧, 岡久 稔也, 曽我部 正弘, 緒方 良輔, 小松 崇俊, 野田 和克, 川口 智之, 喜田 慶史, 三井 康裕, 友成 哲, 谷口 達哉, 宮本 弘志, 高山 哲治 :** 胸腹水濾過濃縮専用装置(M-CART)の自動リークチェック機能と臨床評価．, *<合同シンポジウム>第115回日本消化器病学会四国支部例会. 高知.,* 2021年6月.
166. **菅原 博子, 後藤 龍太, 中谷 紫乃, 山下 温子, 森 慧太朗, 福田 翔大, 平野 直己 :** 専門家同士をつなぐコミュニティづくりの実践(10)-閉じることによって動き出すコミュニティ-, *日本心理臨床学会第40回大会発表論文集,* 45, 2021年9月.
167. **中谷 紫乃, 後藤 龍太, 菅原 博子, 福田 翔大, 森 慧太朗, 山下 温子, 平野 直己 :** 多職種多領域の専門家が集まるコミュニティの機能(3)-質問紙調査結果から見る参加者の体験-, *日本心理臨床学会第40回大会発表論文集,* 218, 2021年9月.
168. **山下 温子, 後藤 龍太, 五十嵐 麻希, 森 慧太朗, 斎藤 央騎, 平野 直己 :** 教育現場における学生のダイナミックな体験をどう捉えるか?-ZICEを用いた学外実習体験の把握と表現の試み-, *日本パーソナリティ心理学会第30回大会発表論文集,* 15, 2021年9月.
169. **大山 永治, 立石 義憲, 中川 忠彦, 白井 昭博, 曽我部 正弘, 岡久 稔也, 寺西 研二 :** アルゴン誘電体バリア放電を照射した生理食塩水に曝露した Jurkat 細胞の生存率, *令和3年 電気学会 基礎・材料・共通部門大会,* 2021年9月.
170. **岡久 稔也, 緒方 良輔, 福家 慧, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** CART専用装置を用いた胸腹水の濾過濃縮., *第42回日本アフェレシス学会学術大会,* 2021年10月.
171. **曽我部 正弘, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** <ワークショップ>上部消化管内視鏡検査受診者の受容性向上への取り組み(循環動態・自律神経機能の評価から), *JDDW2021(第29回日本消化器医関連学会週間),* 2021年11月.
172. **岡久 稔也, 福家 慧, 緒方 良輔, 中川 忠彦, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** 胸腹水濾過濃縮専用装置M-CARTの現状と展望．, *第59回日本人工臓器学会大会委員会企画, 浦安,* 2021年11月.
173. **緒方 良輔, 岡久 稔也, 中川 忠彦, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** 胸腹水濾過濃縮専用装置M-CARTの自動処理機能．, *第59回日本人工臓器学会大会委員会企画, 浦安,* 2021年11月.
174. **曽我部 正弘, 福家 慧, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** 逆流性食道炎とメタボリック症候群の関連性およびメタボロミクスの可能性．, *<合同シンポジウム>第116回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島,* 2021年11月.
175. **友成 哲, 谷 丈二, 野田 和克, 田中 宏典, 田中 貴大, 谷口 達哉, 曽我部 正弘, 宮本 弘志, 佐藤 康史, 六車 直樹, 正木 勉, 高山 哲治 :** 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を用いた遂次治療及び追加治療の有効性．, *<合同シンポジウム>第116回日本消化器病学会四国支部例会.徳島.,* 2021年11月.
176. **福家 慧, 岡久 稔也, 曽我部 正弘, 川口 智之, 田中 久美子, 友成 哲, 谷口 達哉, 宮本 弘志, 柴田 啓志, 岸 史子, 中園 雅彦, 四宮 寛彦, 石川 正志, 高山 哲治 :** 腹水濾過濃縮再静注法の現状と展開．, *<合同シンポジウム>第116回日本消化器病学会四国支部例会. 徳島.,* 2021年11月.
177. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** Building Resilience for International Students: Results of Stress Prevention Senimars, *第17回大学教育カンファレンスin徳島 発表抄録集,* Jan. 2022.
178. **中村 有吾 :** 学校教育領域のトラウマインフォームドケアの現状, *第2回 学校安全推進センター・シンポジウム,* 2022年3月.
179. **中村 有吾 :** トラウマに配慮した支援, *徳島県公認心理師・臨床心理士協会 2021年度 第3回研修会,* 2022年2月.
180. **後藤 龍太 :** 第3章第1節 身体の成長 / 益子洋人・平野直己(編)「ガイドブック あつまれ!みんなで取り組む教育相談-ケース理解×チーム作り×スキルアップ-」, 明石書店, 東京, 2022年10月.
181. **中村 有吾 :** 第10章「トラウマセンシティブの枠組みと取り組み」,亀岡智美(編著)『実践トラウマインフォームドケア』, 2022年10月.
182. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Takeshi Kurihara, Miwako Kagawa, Hiroyuki Ueda, Tomoyuki Kawaguchi, Akira Fukuya, Kaizoh Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Tatsuya Taniguchi, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Comparison of the role of alcohol consumption and qualitative abdominal fat on NAFLD and MAFLD in males and females., *Scientific Reports,* **12,** *1,* 16048, 2022.
183. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Hiroyuki Ueda, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Tatsuya Taniguchi, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Influence of Alcohol Consumption on the Development of Erosive Esophagitis in Both Sexes: A Longitudinal Study., *Nutrients,* **14,** *22,* 4760, 2022.
184. **Yasushi Sato, Yasuyuki Okada, Yasuteru Fujino, Tomoyuki Kawaguchi, Yoshifumi Kida, Yasuhiro Mitsui, Hironori Tanaka, Tetsu Tomonari, Shinji Kitamura, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Hiroshi Miyamoto, Masahiro Sogabe *and* Tetsuji Takayama :** Clinical Outcomes of Comprehensive Genomic Profiling Tests for Gastrointestinal Cancers: Experience from Tokushima University Hospital., *The Journal of Medical Investigation : JMI,* **70,** *1.2,* 154-159, 2023.
185. **Tetsu Tomonari, Joji Tani, Yasushi Sato, Hironori Tanaka, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Akihiro Morishita, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Naoki Muguruma, Tsutomu Masaki *and* Tetsuji Takayama :** Initial therapeutic results of atezolizumab plus bevacizumab for unresectable advanced hepatocellular carcinoma and the importance of hepatic functional reserve., *Cancer Medicine,* **12,** *3,* 2646-2657, 2023.
186. **Tetsu Tomonari, Joji Tani, Chikara Ogawa, Akihiro Deguchi, Tomonori Senoh, Akio Moriya, Hiroshi Shibata, Hiroshi Fukuno, Hironori Tanaka, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Masahiro Sogabe, Yutaka Kawano, Akihiro Morishita, Koichi Takaguchi, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Tsutomu Masaki *and* Tetsuji Takayama :** Multicenter retrospective study of Initial treatment outcome and feasibility of initiating dose reduction of cabozantinib in unresectable hepatocellular carcinoma., *Hepatology Research,* **53,** *2,* 172-178, 2023.
187. **Yoshifumi Kida, Toshiya Okahisa, Yasushi Sato, Masahiro Bando, Shota Fujimoto, ma beibei, Tadahiko Nakagawa, Tomoyuki Kawaguchi, Fumika Nakamura, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Masahiro Sogabe, Koichi Tsuneyama *and* Tetsuji Takayama :** Urokinase-type plasminogen activator blockade ameliorates experimental colitis in mice., *Scientific Reports,* **13,** *1,* 2899, 2023.
188. **Tetsu Tomonari, Hironori Tanaka, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Masahiro Sogabe, Yutaka Kawano, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato *and* Tetsuji Takayama :** A case of complete response with rechallenge-lenvatinib plus transcatheter arterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma refractory to multiple molecular-targeted agent treatments., *Clinical Journal of Gastroenterology,* **16,** *3,* 438-443, 2023.
189. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Hiroyuki Ueda, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Tatsuya Taniguchi, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Influence of alcohol on newly developed metabolic dysfunction-associated fatty liver disease in both sexes: A longitudinal study., *Clinical Nutrition,* **42,** *5,* 810-816, 2023.
190. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** On Campus Support and Satisfaction of International Students: A Review of Japanese Literature, *The IAFOR Conference on Educational Research & Innovation 2022 Official Conference Proceedings,* 1-16, 2022.
191. **中村 有吾, 甲田 宗良 :** 災害時に生じるメンタルヘルスの問題とその対応, *めんたるへるす, 71,* 49-57, 2022年.
192. **後藤 龍太 :** ひきこもりから抜け出すための多職種の力-ひきこもり青年との心理面接から考える多職種連携-, *思春期青年期精神医学,* **32,** *2,* 139-140, 2022年.
193. **井ノ崎 敦子 :** 日本の性教育と家父長制, **32,** 28-33, 2023年.
194. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 桂田 恵美子, 松並 知子, 谷向 みつえ :** 児童養護施設職員を対象とした入所児童の性問題情報共有カフェの効果, *四天王寺大学紀要,* **73,** 120-130, 2023年.
195. **井元 里美, 後藤 龍太, 長屋 裕介, 菅原 夏海, 平野 直己 :** 訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とは-日本人学校での教育相談支援の工夫と配慮からみえてきたこと-, *学校臨床心理学研究, 19,* 37-46, 2023年.
196. **後藤 龍太, 井元 里美, 長屋 裕介, 菅原 夏海, 平野 直己 :** 支援者の''体験の近さ''や''馴染みの感覚''を活かした日本人学校への訪問支援-訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とはⅡ-, *学校臨床心理学研究, 19,* 47-58, 2023年.
197. **Yasushi Sato, Koichi Okamoto, Yoshifumi Kida, Yasuhiro Mitsui, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Overview of Chemotherapy for Gastric Cancer., *Journal of Clinical Medicine,* **12,** *4,* 1336, Feb. 2023.
198. **HoangNam Tran, Atsuko Inosaki *and* Cheng-Hai Jin :** On Campus Support and Satisfaction of International Students: A Review of Japanese Literature, *The IAFOR Conference on Educational Research & Innovation (ERI2022),* Washington, D.C., May 2022.
199. **Toshiya Okahisa, Masahiro Sogabe, Ryosuke Ogata, Takatoshi Komatsu, Yoshiaki Ohnishi, Hiroyuki Ueda, Tomoyuki Kawaguchi, Akira Fukuya, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Concentration Ratio Self-regulation Function of Ascites Filtration and Concentration Equipment for Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy, *ASAIO 67th Annual Conference,* Chicago, Jun. 2022.
200. **Tetsuji Takayama, Yoshifumi Kida, Toshiya Okahisa, Yasushi Sato, Masahiro Bando, shota Fujimoto, Tomoyuki Kawaguchi, Fumika Nakamura, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Koichi Tsuneyama *and* Masahiro Sogabe :** The relevance of urokinase-type plasminogen activator in pathogenesis of ulcerative colitis., *WCOG2022 (World Congress of Gastroenterology),* Dubai, Dec. 2022.
201. **後藤 龍太 :** ひきこもりから抜け出すための多職種の力-ひきこもり青年との心理面接から考える多職種連携-, *日本思春期青年期精神医学会第34回大会抄録集,* 24, 2022年7月.
202. **中村 有吾 :** 第三層目の支援効果を高めるユニバーサルな取り組みを考える, *第21回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2022年7月.
203. **後藤 龍太 :** 自分なりの「治療構造論」が『実践的治療構造論』になっていく過程(自主シンポジウム「実践的治療構造論を咀嚼する-多様な心理臨床場面の基盤となる治療構造論的センスの錬磨-」/望月大八・菅原奈緒・後藤龍太・栗原和彦), *日本心理臨床学会第41回大会,* 2022年9月.
204. **後藤 龍太 :** 北海道の子ども・若者支援者をエンパワメントする互恵的コミュニティづくりの実践事例(自主シンポジウム「コミュニティづくりの実践はどうして心理臨床といえるのか?-コミュニティ臨床と心理臨床の関係-/後藤龍太・中谷紫乃・山下温子・菅原博子・森慧多朗・山下温子・平野直己・武田信子・吉村仁・藤原勝紀), *日本心理臨床学会第41回大会,* 2022年9月.
205. **井元 里美, 後藤 龍太, 長屋 裕介, 菅原 夏海, 平野 直己 :** 継続的な被災地支援活動における工夫と配慮-訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とはⅢ-, *日本心理臨床学会第41回大会発表論文集,* 323, 2022年9月.
206. **長屋 裕介, 井元 里美, 後藤 龍太, 菅原 夏海, 平野 直己 :** 被災地派遣による日常につながる訪問支援の工夫と配慮-訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とはⅣ-, *日本心理臨床学会第41回大会発表論文集,* 325, 2022年9月.
207. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 谷向 みつえ, 上野 淳子, 松並 知子, 桂田 恵美子 :** 児童養護施設入所児間の性問題行動の予防(1), *日本心理学会大会発表論文集86,* **86,** *0,* 1PM-073-PP, 2022年9月.
208. **谷向 みつえ, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 桂田 恵美子 :** 児童養護施設入所児間の性問題行動の予防(2), *日本心理学会大会発表論文集86,* **86,** *0,* 1PM-074-PP, 2022年9月.
209. **片岡 俊人, 川島 武朗, 大工廻 亮, 鈴木 英夫, 緒方 良輔, 友成 哲, 高山 哲治, 曽我部 正弘, 上田 浩之 :** 胸腹水濾過濃縮時の目詰まり濾過器の洗浄法の最適化に関する実験的検討., *第60回日本人工臓器学会大会,,* 2022年11月.
210. **川島 武朗, 片岡 俊人, 大工廻 亮, 鈴木 英夫, 緒方 良輔, 友成 哲, 高山 哲治, 曽我部 正弘, 上田 浩之, 岡久 稔也 :** 胸腹水濾過濃縮時の濃縮圧の自動制御に関する実験的検討., *第60回日本人工臓器学会大会,* 2022年11月.
211. **緒方 良輔, 岡久 稔也, 上田 浩之, 小松 崇俊, 大西 芳明, 中川 忠彦, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** CART専用装置の開発とCARTの安全基準に関する実験的・臨床的検討., *第60回日本人工臓器学会大会,* 2022年11月.
212. **曽我部 正弘, 岡久 稔也, 宮本 弘志, 高山 哲治 :** 逆流性食道炎発症と飲酒量の関係., *<合同シンポジウム>第129回日本消化器内視鏡学会四国支部例会. 徳島.,* 2022年11月.
213. **大工廻 亮, 鈴木英夫 (名), 川島武朗 (名), 片岡俊人 (名), 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 泓田 正雄, 寺田 賢治, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** ストレス負荷時の腸蠕動音測定による過敏性腸症候群の診断., *第60回日本人工臓器学会大会, 松山.,* 2022年11月.
214. **鈴木英夫 (名), 大工廻 亮, 川島武朗 (名), 片岡俊人 (名), 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 泓田 正雄, 寺田 賢治, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** 腸蠕動音測定時の食事条件の最適化., *第60回日本人工臓器学会大会, 松山.,* 2022年11月.
215. **緒方良輔 (名), 小松崇俊 (名), 佐藤翔平 (名), 妹尾知怜 (名), 角安明里 (名), 小林誠司 (名), 大西 芳明, 中川忠彦 (名), 曽我部 正弘, 上田 浩之, 岡久 稔也 :** マスキュア腹水濾過・濃縮フィルタのM-CART を用いた自動プライミング洗浄液量の最適化., *第43回日本アフェレシス学会学術大会, 金沢.,* 2022年11月.
216. **山下 温子, 五十嵐 麻希, 後藤 龍太, 斎藤 央騎, 山元 隆子, 平野 直己 :** 大学生との交流の経験から把握する子どもの体験様式-ZICEを用いた大学見学イベントでの子どもの体験の記述を通して-, *日本パーソナリティ心理学会第31回大会発表論文集,* 114, 2022年12月.
217. **瀬分宏美 (名), 深川雅美 (名), 大西裕美 (名), 高橋幸子 (名), 崎川光子 (名), 今村美和子 (名), 石川美保 (名), 勢井萌都子 (名), 門田美由香 (名), 香川 美和子, 柴 昌子, 岡久玲子 (名), 泓田 正雄, 寺田 賢治, 上田 浩之, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** 腕時計型生体モニタを用いた体験型健診システムの構築., *日本総合健診医学会第51回大会, 東京.,* 2023年1月.
218. **中村 有吾 :** 「難民の子どもと青年のメンタルヘルス:疫学・介入・今後の方向性」(訳), *トラウマティック・ストレス,* **20,** *1,* 70-71, 2022年6月.
219. **岩見沢キャンプ心理学研究会，山下 温子, 五十嵐 麻希, 後藤 龍太, 山元 隆子 :** 「北海道科学大学見学ツアー」での体験に関する調査報告書, 北海道, 2022年12月.
220. **曽我部 正弘, 武田 早苗, 尾﨑 理恵, 和喜 遙佳, 西尾 よしみ, 早渕 純子, 上野 理恵, 枝川 令音, 井﨑 ゆみ子 :** 当センター主導によるプロジェクトマネジメントに基づいた大学拠点ワクチン接種の実施, *CAMPUS HEALTH,* **60,** *1,* 175-177, 2023年3月.
221. **曽我部 正弘 :** 第3章 感染症., 医学出版社, 2024年.
222. **Tamotsu Sagawa, Yasushi Sato, Masahiro Hirakawa, Kyoko Hamguchi, Fumito Tamura, Hiroyuki Nagashima, Koshi Fujikawa, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Case Report: Longitudinal monitoring of clonal evolution by circulating tumor DNA for resistance to anti-EGFR antibody in a case of metastatic colorectal cancer., *Frontiers in Oncology,* **13,** 1203296, 2023.
223. **Tamotsu Sagawa, Yasushi Sato, Hiroyuki Nagashimia, Kohichi Takada, Mamoru Takahashi, Masahiro Hiarakawa, Kyoko Hamaguchi, Fumito Tamura, Koshi Fujikawa, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Hilar/mediastinal and cutaneous drug-induced sarcoidosis-like reaction associated with immune checkpoint inhibitors in metastatic colorectal cancer: a case report., *Frontiers in Immunology,* **14,** 1203621, 2023.
224. **Yasushi Sato, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Akinari kasai, Tomoyuki Kawaguchi, Tamotsu Sagawa, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Novel Biomarkers of Gastric Cancer: Current Research and Future Perspectives., *Journal of Clinical Medicine,* **12,** 4646, 2023.
225. **Reiko Yokoyama, Yasushi Sato, Fumika Nakamura, Kaizo Kagemoto, Yasuhiro Mitsui, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Efficacy of immune checkpoint inhibitors in patients with anorectal melanoma in association with immune-related adverse events: a case series., *Clinical Journal of Gastroenterology,* **Online ahead of print.,** 2023.
226. **Tetsu Tomonari, Joji Tani, Yasushi Sato, Hironori Tanaka, Takahiro Tanaka, Tatsuya Taniguchi, Yutaka Kawano, Asahiro Morishita, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Tsutomu Masaki *and* Tetsuji Takayama :** Clinical Features and Outcomes of Conversion Therapy in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma., *Cancers,* **15,** *21,* 5221, 2023.
227. **Ryo Shinomiya, Yasushi Sato, Takanori Yoshimoto, Tomoyuki Kawaguchi, Akihiro Hirao, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** A case of treatmentresistant advanced gastric cancer with FGFR2gene alteration successfully treated with pemigatinib., *International Cancer Conference Journal,* **13,** 240-244, 2024.
228. **井ノ崎 敦子 :** 「リアコ」∼うつつを抜かすことのススメ∼, *心理臨床の広場,* **16,** *1,* 16-17, 2023年.
229. **井ノ崎 敦子, 佐藤 健二, 後藤 龍太, 糸林 剛志 :** 中国四国国立大学におけるハラスメント防止規程に見られる特徴, *第53回中国四国大学保健管理研究集会抄録集,* 28, 2023年.
230. **赤澤 淳子, 桂田 恵美子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 谷向 みつえ, 松並 知子 :** 5∼8歳の児童を対象とした性暴力防止教育の効果検証, *日本心理学会大会発表論文集,* **87,** *0,* 2023年.
231. **井ノ崎 敦子, 佐藤 健二, 後藤 龍太, 糸林 剛 :** 中四国地区国立大学におけるハラスメント防止規定に見られる特徴, *第53回中四国大学保健管理研究集会報告書,* 2023年.
232. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 谷向 みつえ, 桂田 恵美子, 松並 知子, 上野 淳子, 瀧川 侑磨, 木村 友利愛 :** 性暴力予防のために何が必要なのか, --- 児童養護施設における取り組み ---, *日本発達心理学会第35回大会論文集,* 90, 2024年.
233. **Yasushi Sato, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Akinari Kasai, Tomoyuki Kawaguchi, Tamotsu Sagawa, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Novel Biomarkers of Gastric Cancer: Current Research and Future Perspectives., *Journal of Clinical Medicine,* **12,** *14,* 4646, Jul. 2023.
234. **後藤 龍太 :** コロナ禍が教えてくれること:学生相談の窓外の若者たちの姿, *日本臨床教育学会通信, 12,* 46-47, 2023年10月.
235. **Yoshifumi Kida, Toshiya Okahisa, Yasushi Sato, Masahiro Bando, shota fujimoto, Tadahiko Nakagawa, Tomoyuki Kawaguchi, Fumika Nakamura, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Masahiro Sogabe, Koichi Tsuneyama *and* Tetsuji Takayama :** Thepapeutic strategy of Ulcerative Colitis targeting Urokinase-type Plasminogen Activator., *DDW2023,* May 2023.
236. **井ノ崎 敦子, 佐藤 健二, 後藤 龍太, 糸林 剛 :** 中四国地区国立大学におけるハラスメント防止規定に見られる特徴, *第53回中四国大学保健管理研究集会抄録集,* 28, 2023年8月.
237. **長屋 裕介, 後藤 龍太, 菅原 夏海, 平野 直己 :** 心理職による学校への訪問支援の工夫と配慮:訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とはⅤ, *日本心理臨床学会第42回大会発表論文集,* 438, 2023年9月.
238. **後藤 龍太 :** 日々，学びつつ，実践しつつ，そして学びつつの実践的治療構造論(自主シンポジウム「臨床の手がかりとしての実践的治療構造論:治療構造論的センスを培う/菅原奈緒・望月大八・後藤龍太・栗原和彦), *日本心理臨床学会第42回大会発表論文集,* 476, 2023年9月.
239. **後藤 龍太, 五十嵐 麻希, 山元 隆子, 平野 直己 :** 体験を共有した者をインタビュアーに設定する意義:ZICEでみられた誘導的言動がインタビュイーに及ぼす影響を通して検討する, *日本パーソナリティ心理学会第32回発表論文集,* 83, 2023年9月.
240. **鈴木 想生, 今村 美和子, 末内 辰尚, 曽我部 正弘, 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 泓田 正雄, 寺田 賢治, 上田 浩之, 岡久 稔也 :** 音楽聴収ストレス負荷試験による腸蠕動音と自律神経の変化., *第61回日本人工臓器学会大会,* 2023年11月.
241. **阿部 愛美, 瀬分 宏美, 末内 辰尚, 曽我部 正弘, 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 泓田 正雄, 寺田 賢治, 上田 浩之, 岡久 稔也 :** 健診受診者を対象とした睡眠中の腸蠕動音解析システムの開発., *第61回日本人工臓器学会大会,* 2023年11月.
242. **緒方 良輔, 曽我部 正弘, 中川 忠彦, 岡久 稔也 :** <パネルディスカッション>M-CARTの現状と課題., *第61回日本人工臓器学会大会,* 2023年11月.
243. **後藤 龍太, 長屋 裕介 :** ひきこもり支援における多職種連携の難しさ:支援に携わる心理専門職の視点を通して探る, *日本精神衛生学会第39回大会抄録集,* 54, 2023年12月.
244. **糸林 剛志 :** 小児科病院における心理検査業務の小さな「カイゼン」の積み重ね, *第3回日本公認心理師学会学術集会抄録集,* 63, 2023年12月.
245. **曽我部 正弘, 香川 美和子, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** 飲酒を含めた生活習慣の逆流性食道炎発症への影響., *<合同シンポジウム>第131回日本消化器内視鏡学会四国支部例会, 高知.,* 2023年12月.
246. **曽我部 正弘, 香川 美和子, 上田 浩之, 横山 怜子, 田中 宏典, 友成 哲, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** 飲酒とMAFLD発症との関係., *<合同シンポジウム>第120回日本消化器病学会四国支部例会.高知.,* 2023年12月.
247. **藤本 将太, 樫原 孝典, 三宅 孝典, 岡本 耕一, 河野 豊, 宮本 弘志, 曽我部 正弘, 佐藤 康史, 高山 哲治 :** 抗c-KIT抗体フラグメントと近赤外蛍光内視鏡を用いた水分子イメージングおよび光治療によるGISTの新規診断治療法の開発., *第20回日本消化管学会総会学術集会,* 2024年2月.
248. **川口 智之, 岡本 耕一, 藤本 将太, 上田 浩之, 曽我部 正弘, 佐藤 康史, 高山 哲治 :** Stage I食道癌に対するESD後追加CRTの治療成績に関する検討., *第20回日本消化管学会総会学術集会,* 2024年2月.
249. **横山 怜子, 中村 文香, 藤本 将太, 樫原 孝典, 曽我部 正弘, 佐藤 康史, 高山 哲治 :** 直腸原発悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害剤の有効性と免疫関連副作用の関連性., *第20回日本消化管学会総会学術集会,* 2024年2月.
250. **近清 唯人, 中川 忠彦, 白井 昭博, 曽我部 正弘, 岡久 稔也, 寺西 研二 :** 誘電体バリア放電を生理食塩水に照射した際に生成される活性酸素・窒素種の生成特性, *令和6年電気学会全国大会講演論文集,* 100, 2024年3月.
251. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Motoko Sei, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Fumika Nakamura, Tetsu Tomonari, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Association of metabolic dysfunction-associated fatty liver disease with gallstone development: A longitudinal study., *Journal of Gastroenterology and Hepatology,* **39,** *4,* 754-761, 2024.
252. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Takanori Kashihara, shota Fujimoto, Tomoyuki Kawaguchi, Reiko Yokoyama, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Yutaka Kawano, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Impact of alcohol consumption on metabolic dysfunction-associated fatty liver disease development and remission: A longitudinal cohort study., *European Journal of Clinical Investigation,* **54,** *9,* e14221, 2024.
253. **Koichi Okamoto, Tomoyuki Kawaguchi, Kaizo Kagemoto, Yoshifumi Kida, Yasuhiro Mitsui, Fumika Nakamura, Kouzou Yoshikawa, Masahiro Sogabe, Yasushi Sato, Joji Shunto, Yoshimi Bando, Mitsuo Shimada *and* Tetsuji Takayama :** Gastric fundic gland polyposis and cancer development after eradication of Helicobacter pylori in patient with gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach (GAPPS)., *Gastric Cancer,* **27,** *3,* 635-640, 2024.
254. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Motoko Sei, Hiroyuki Ueda, reiko yokoyama, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Fumika Nakamura, Tetsu Tomonari, Koichi Okamoto, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Association of variabilities in body mass index and waist circumference with newly achieved remission of metabolic dysfunction-associated fatty liver disease., *Diabetes & Metabolic Syndrome,* **18,** *5,* 103036, 2024.
255. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Motoko Sei, Hiroyuki Ueda, reiko yokoyama, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Fumika Nakamura, Tetsu Tomonari, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Association of metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease with erosive esophagitis development: a longitudinal observational study., *Journal of Gastroenterology and Hepatology,* **39,** *6,* 1107-1114, 2024.
256. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Takanori Kashihara, Ryo Shinomiya, Takanori Miyake, Tomoyuki Kawaguchi, Reiko Yokoyama, Kaizo Kagemoto, Yoshifumi Kida, Yasuyuki Okada, Tetsu Tomonari, Yutaka Kawano, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** The association between alcohol consumption and cardiometabolic factors and liver fibrosis in metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease and metabolic dysfunction and alcohol-associated liver disease., *Alimentary Pharmacology & Therapeutics,* **60,** *11-12,* 1587-1598, 2024.
257. **Masahiro Sogabe, Toshiya Okahisa, Miwako Kagawa, Takanori Kashihara, Shota Fujimoto, Tomoyuki Kawaguchi, Reiko Yokoyama, Kaizo Kagemoto, Hironori Tanaka, Yoshifumi Kida, Tetsu Tomonari, Yasushi Sato, Masahiko Nakasono *and* Tetsuji Takayama :** Metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease and gallbladder polyp development: an observational study., *Scientific Reports,* **14,** *1,* 22446, 2024.
258. **Kazuyoshi Noda, Yasushi Sato, Yasuyuki Okada, Kensei Nishida, Yutaka Kawano, Toshihito Tanahashi, Masahiro Bando, Koichi Okamoto, Masanori Takehara, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Kei Daizumoto, Hiro-omi Kanayama *and* Tetsuji Takayama :** Exosomal miR-199a-3p Secreted From Cancer-Associated Adipocytes Promotes Pancreatic Cancer Progression., *Cancer Medicine,* **13,** *20,* e70265, 2024.
259. **Tetsu Tomonari, Joji Tani, Yasushi Sato, Hironori Tanaka, Aasahiro Morishita, Koichi Okamoto, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto *and* Tetsuji Takayama :** Initial treatment efficacy and safety of durvalumab plus tremelimumab combination therapy in unresectable hepatocellular carcinoma in clinical practice., *JGH Open,* **8,** *10,* e70033, 2024.
260. **Kaizo Kagemoto, Koichi Okamoto, Yasuyuki Okada, Motoko Sei, Shota Fujimoto, Mai Yagi, Takeshi Mitsuhashi, Hiroyuki Ueda, Takanori Yoshimoto, Takanori Kashihara, Tomoyuki Kawaguchi, Yoshifumi Kida, Yasuhiro Mitsui, Yutaka Kawano, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Yasushi Sato, Naoki Muguruma *and* Tetsuji Takayama :** Clinicopathological evaluation of the efficacy of endoscopic treatment for sessile serrated lesions comparing endoscopic mucosal resection, cold snare polypectomy, and underwater endoscopic mucosal resection., *DEN Open,* **5,** *1,* e70051, 2024.
261. **後藤 龍太, 長屋 裕介 :** ひきこもり支援における多職種連携の難しさ:支援に携わる心理専門職の視点を通して探る, *日本精神衛生学会誌こころの健康,* **39,** *1,* 55, 2024年.
262. **曽我部 正弘, 香川 美和子, 上田 浩之, 田中 宏典, 友成 哲, 岡本 耕一, 河野 豊, 宮本 弘志, 佐藤 康史, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** MAFLDと逆流性食道炎発症との関係, *第110回日本消化器病学会総会,* 2024年5月.
263. **喜田 慶史, 岡久 稔也, 佐藤 康史, 藤本 将太, 川口 智之, 中村 文香, 岡本 耕一, 宮本 弘志, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** <シンポジウム>潰瘍性大腸炎におけるウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター(uPA)の発現解析と治療標的としての意義., *第110回日本消化器病学会総会,* 2024年5月.
264. **末内 辰尚, 岡久 稔也, 樫原 孝典, 藤本 将太, 横山 怜子, 上田 浩之, 喜田 慶史, 香川 美和子, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** <パネルディスカッション>音楽ストレス負荷時の腸蠕動音測定による過敏性腸症候群の診断., *第110回日本消化器病学会総会,* 2024年5月.
265. **河野 豊, 佐藤 康史, 友成 哲, 田中 宏典, 曽我部 正弘, 米澤 真衣, 三橋 威志, 高山 哲治 :** フィトケミカル含有食品エゾウコギによるNAFLD/NASH治療の基礎検討., *第110回日本消化器病学会総会, 徳島.,* 2024年5月.
266. **曽我部 正弘, 岡久 稔也, 岡本 耕一, 高山 哲治 :** <合同シンポジウム>びらん性食道炎発症へのMASLDの影響, *第132回日本消化器内視鏡学会四国支部例会,* 2024年6月.
267. **香川 美和子, 末内 辰尚, 柴 昌子, 曽我部 正弘, 岡久 稔也 :** 経過観察中に自然退縮した大腸MALTリンパ腫の1例., *第132回日本消化器内視鏡学会四国支部例会,* 2024年6月.
268. **菅原 夏海, 井元 里美, 後藤 龍太, 長屋 裕介, 平野 直己 :** 若手心理職による学校への訪問支援の工夫と配慮:訪問型メンタルヘルス支援における支援の提案の在り方とはⅥ, *日本心理臨床学会第43回大会発表論文集,* 221, 2024年8月.
269. **糸林 剛志 :** 大学生・大学職員対象ゲートキーパー養成講座の効果に関する研究, *第48回日本自殺予防学会抄録集,* 127, 2024年9月.
270. **後藤 龍太 :** 「心」に関心を持つ者たちが集うClosedな学びの場をつくる実践:対面からオンラインのあいだで直面した難しさ(自主シンポジウム「オンラインによる自己研鑽を考える」/後藤龍太・長屋裕介・渡邉智絵・御代あかね・佐藤静江・三上謙一), *日本心理臨床学会第43回大会発表論文集,* 470, 2024年9月.
271. **後藤 龍太, 望月 大八, 菅原 奈緒, 栗原 和彦 :** その時その場に起こっている動きを捉えるための実践的治療構造論:治療構造論的センスを研ぎ澄ますための修練, *日本心理臨床学会第43回大会発表論文集,* 481, 2024年9月.
272. **永久 ひさ子, 纓坂 英子, 荘島 幸子, 志田 哲之, 清水 香奈, 井ノ崎 敦子 :** 中年期セクシュアルマイノリティにおける心理的発達と家族, *日本心理学会第88回大会論文集,* **SS-014,** 2024年9月.
273. **赤澤 淳子, 上野 淳子, 井ノ崎 敦子, 松並 知子 :** 共感性および暴力観がActive Bystander態度に及ぼす影響, *日本心理学会第88回大会論文集,* **2B-076-PO,** 2024年9月.
274. **小泉 誠, 池 志保, 宮本 淳, 荻野 基介, 井ノ崎 敦子, 角田 豊 :** 間主観性自己心理学入門⓵, *日本心理臨床学会第43回大会論文集,* 029, 2024年9月.
275. **後藤 龍太, 五十嵐 麻希, 山元 隆子, 山下 敦子, 渡邉 智絵, 平野 直己 :** 静的な活動について体験をどのように捉えるか:学外授業における「きく」体験に対するZICEの応用可能性, *日本パーソナリティ心理学会第33回大会発表論文集,* 2024年10月.
276. **宮本 弘志, 上田 浩之, 三宅 孝典, 髙橋 拓, 横山 怜子, 岡田 泰行, 曽我部 正弘, 佐藤 康史, 高山 哲治 :** 膵癌における相同組換え修復欠損とプラチナ製剤を含む化学療法の関連., *JDDW2024,* 2024年11月.
277. **岡部 一郎, 緒方 良輔, 曽我部 正弘, 中川 忠彦, 川口 智之, 上田 浩之, 高山 哲治, 樫原 孝典, 岡久 稔也 :** <萌芽研究ポスターセッション>腹水濾過濃縮再静注法(CART)の腹水処理速度の最適化., *第62回日本人工臓器学会大会,* 2024年11月.
278. **松永 貴裕, 香川 美和子, 曽我部 正弘, 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 泓田 正雄, 寺田 賢治, 岡久 玲子, 樫原 孝典, 岡久 稔也 :** <萌芽研究ポスターセッション>個人の特性を活かした行動変容促進システムの開発., *第62回日本人工臓器学会大会,* 2024年11月.
279. **中嶋 健悟, 阿部 愛美, 末内 辰尚, 香川 美和子, 曽我部 正弘, 中川 忠彦, 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 樫原 孝典, 岡久 稔也 :** <萌芽研究ポスターセッション>睡眠中腸音解析システムを用いた過敏性腸症候群患者の病態評価., *第62回日本人工臓器学会大会,* 2024年11月.
280. **米山 世那, 鈴木 想生, 末内 辰尚, 香川 美和子, 曽我部 正弘, 中川 忠彦, 大野 将樹, 獅々堀 正幹, 樫原 孝典, 岡久 稔也 :** <萌芽研究ポスターセッション>腸音解析による過敏性腸症候群診断のための音楽ストレス負荷試験の最適化., *第62回日本人工臓器学会大会,* 2024年11月.
281. **岡部 一郎, 緒方 良輔, 曽我部 正弘, 中川 忠彦, 川口 智之, 上田 浩之, 高山 哲治, 樫原 孝典, 岡久 稔也 :** 腹水濾過濃縮再静注法(CART)の腹水処理速度の最適化．, *第62回日本人工臓器学会大会.,* 2024年11月.
282. **岡久 稔也, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** <シンポジウム>医工連携による胸腹水濾過濃縮専用装置開発の経緯と課題:医師であり医療機器開発者である立場から., *第62回日本人工臓器学会大会,* 2024年11月.
283. **後藤 龍太, 長屋 裕介 :** ひきこもり支援における多職種連携の難しさⅡ:支援に携わる福祉専門職の視点を通して探る, *日本精神衛生学会第40回大会抄録集,* 2024年12月.
284. **岡久 稔也, 緒方 良輔, 中川 忠彦, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** 医工連携によるCART専用装置の開発と展開．, *<シンポジウム>第43回日本アフェレシス学会関西地方会, 高松.,* 2025年2月.
285. **赤澤 淳子, 桂田 恵美子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 谷向 みつえ, 松並 知子 :** 児童養護施設入所児を対象とした性暴力予防プログラム‐5‐8歳用プログラムの開発と効果検証‐, *日本発達心理学会第36回大会発表論文集,* 381, 2025年3月.
286. **岩見沢キャンプ心理学研究会, 後藤 龍太, 五十嵐 麻希, 山下 温子, 山元 隆子, 渡邉 智絵 :** 北海道科学大学・覚王寺実習における体験に関する調査報告書, 北海道, 2024年4月.
287. **Yasuyuki Okada, Yasushi Sato, Ryo Shinomiya, Takanori Miyake, Taku Takahashi, Reiko Yokoyama, Yasuhiro Mitsui, Tetsu Tomonari, Koichi Okamoto, Masahiro Sogabe, Hiroshi Miyamoto, Yutaka Kawano *and* Tetsuji Takayama :** Conditions for effective use of liposomal irinotecan with fluorouracil and leucovorin in unresectable pancreatic cancer after FOLFIRINOX treatment., *International Journal of Clinical Oncology,* **Online ahead of print.,** 2025.
288. **岡久 稔也, 末内 辰尚, 香川 美和子, 三橋 威志, 川口 智之, 喜田 慶史, 三井 康裕, 岡本 耕一, 曽我部 正弘, 高山 哲治 :** <シンポジウム>睡眠中およびストレス負荷時の腸音解析による過敏性腸症候群の診断と病態評価., *第111回日本消化器病学会総会,* 2025年4月.
289. **曽我部 正弘, 香川 美和子, 末内 辰尚, 樫原 孝典, 喜田 慶史, 友成 哲, 河野 豊, 佐藤 康史, 岡久 稔也, 高山 哲治 :** <ワークショップ>逆流性食道炎発症への飲酒の影響と口腔内細菌との関連性., *第111回日本消化器病学会総会,* 2025年4月.
290. **井ノ崎 敦子 :** 女子学生の自己の主体性促進につながる関係性-間主観的自己心理学の観点からの考察-, *日本学生相談学会第43回大会発表論文集,* 56, 2025年5月.